

## 【令和5年度経営者層研修旅行】

10月19日(木)～21日(土)にかけて参加者20名で、日本原燃株式会社の見学と青森県・秋田県の名所観光を行い見聞を広げました。また、初参加者も加わった中で親睦を深めてきました。

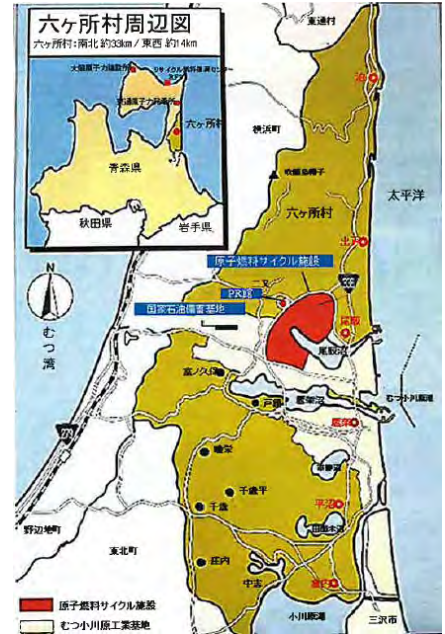
今回の経営者層研修旅行は、多くの会員の皆様方にご参加頂けますように、訪問先、費用等についてご検討をいただくため新たに「旅行委員」を設け、株式会社 兵庫製作所の井上様と有限会社 小谷興産の仁禮様にアドバイスを頂きましたこと誠にありがとうございました。

### “日本原燃株式会社見学” (10月19日)

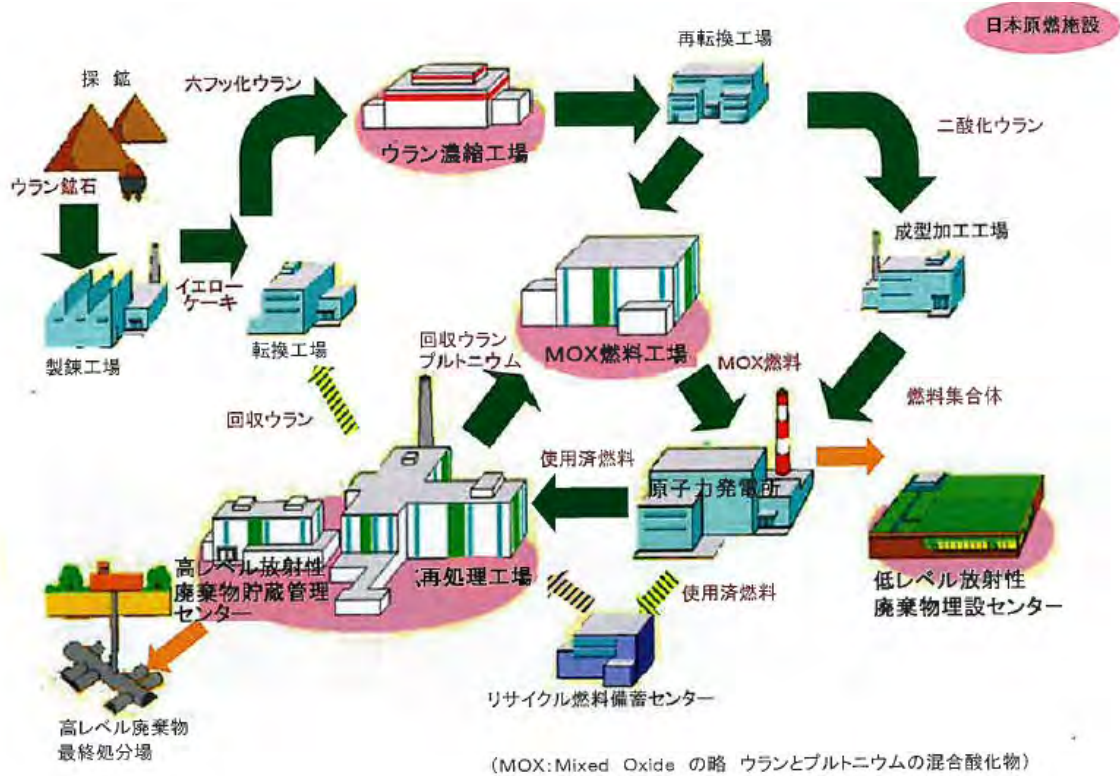
日本原燃株式会社が位置する青森県六ヶ所村は、青森県の下北半島太平洋岸に位置する村で、1889年(明治22年)4月1日 - 町村制の施行により、倉内村、平沼村、鷹架(たかほこ)村、尾駈(おぶち)村、出戸村、泊村の六ヶ所(六集落)が合併して六ヶ所村が発足。面積約250キロ平方メートル、人口約1万人の村です。

日本原燃株式会社は、1992年(平成4年)に日本原燃サービスと日本原燃産業が合併し発足し、従業員が3,075名(2023年4月時点)でその内の約64%が青森県の出身者となっています。

事業としては、高レベル放射性廃棄物の貯蔵管理センターをはじめ、低レベル放射性廃棄物埋設センター、ウラン濃縮工場、試運転中の再処理工場、建設中のMOX燃料工場などを有する原子燃料サイクル施設となり、日本の原子力発電を支えています。



## 原子燃料サイクル図



図：日本原燃株式会社説明資料より抜粋

今回の見学コースは、PR館で概要説明を受けた後、PR館見学その後は、関西電力株式会社のご協力により、一般では見学できないウラン濃縮工場、低レベル放射性廃棄物埋設センター、再処理展示コーナー、各種安全対策工事現場を見学させていただきました。

今回の見学で、関西電力エリアには、原子力発電所として美浜発電所・高浜発電所・大飯発電所があり、それぞれの原子力発電所で使い終えた燃料(使用済燃料)の再利用を日本原燃株式会社にて厳重なセキュリティの下、使用済燃料を安全に管理されていることを知る良い機会となりました。加えて、現在の日本では原子力発電が温室効果ガス排出抑制等重要な位置づけにあることを感じました

また、関西電力エリアでは他のエリアに比べると原子力発電等により、安い電気料金で安定的に供給していただいていることに改めて感謝します。

日本原燃株式会社の周囲には、原子力関連施設が集中するだけでなく、多くの太陽光発電用のソーラーパネル、風力発電用の風車が稼働している風景は圧巻でした。



PR館



PR館



PR館



風力発電用風車

### “ゴルフ組&観光組” (10月20日)

翌、10月20日は、ゴルフ組と観光組に分かれ行動をしました。

前日の天気予報では、20日はかなりの雨量と風が強いとの予報であり、日本原燃株式会社見学後の車中において、雨予報であればゴルフはキャンセルしたいとの申し出が多数あり当初は13人がゴルフ予定



でしたが、7人が一度は回りたい“日本の聖地100選”でラウンドしました。朝、ホテルを出発する際には既に雨が降っていましたが、ゴルフ場に到着すれば何と！雨も止んだ中6ホール目まではプレーできましたが、その後は天気予報通りの雨となりました。



ゴルフ組7人衆



11月2日(提供:夏泊ゴルフリンクス)

観光組の方々は、青森・秋田の両県にまたがる十和田湖。そして、十和田湖・子ノ口から焼山までの約14kmの流れ、奥入瀬溪流を観光し紅葉が始まった景色を満喫し、日常の疲れを癒されました。



奥入瀬溪流駐車場にて



奥入瀬溪流



奥入瀬溪流(石ケ戸)



十和田湖



当日の宿泊先は、“あこがれの温泉”として一度は絶対に行ってみたい乳頭温泉郷です。ブナの原生林の中に、風情あるレトロな湯治場の雰囲気があり、非日常の時間を過ごしました。夕食は囲炉裏を囲んでの炭火焼と山の芋鍋そして地酒、地ワインを満喫。



鶴の湯別館山の宿



名物 山の芋鍋



鶴の湯本館



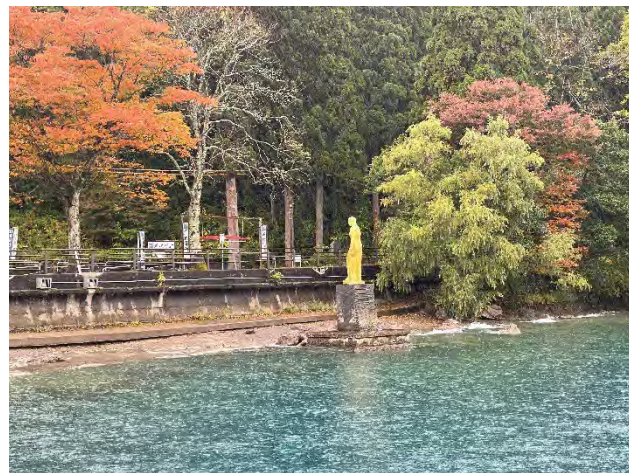
鶴の湯本館にて

### “田沢湖・角館観光” (10月21日)

当日は、最高気温が約10℃とたいへん寒い日でしたが、時折雨が降る中での観光となりました。田沢湖は周囲20km、面積25.5平方kmの円形の湖で、日本一の深さ(423.4m)があります。雨の中ではありましたが、瑠璃色の湖面を見れたように思います。



御座石神社



たつ子像



経営者層研修旅行最後の観光地は、角館。角館武家屋敷通りは、1620年 芦名義勝が角館を領していた頃に造られたと伝えられています。この通り一帯には下級武士から上級武士の家屋が並んでおり、江戸時代末期の武家屋敷の造形が現在まで色濃く残されています。

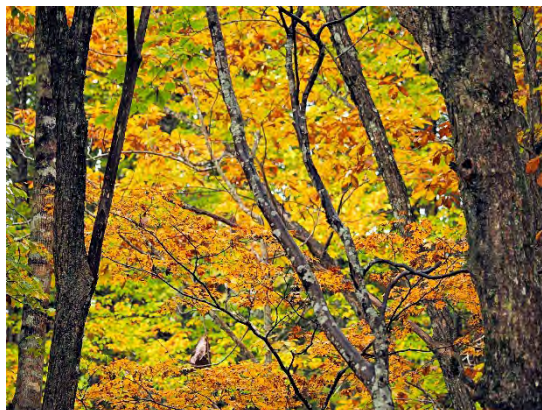


武家屋敷入口にて



小野田 直武 銅像前にて

最後に、公私に渡りご多忙の中、経営者層研修旅行にご参加を頂きました方々へお礼申し上げます。令和6年度経営者層研修旅行につきましては、より多くの方々にご参加頂けるよう企画いたしますので、ご参加の程よろしく願いいたします。



・写真提供

前島副会長様、諏訪原副会長様

以上